

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	悪性黒色腫	DTIC 単独大量療法	○日常診療	術前化学療法	28日間
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済・審議中	進行・再発	予定総コース
		その他( )		可能な限り	

☆上記のうち該当箇所○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	生理食塩液	500mL	5時間	d1-5	主管
2	Dex グラニセトロン	3A 1mg			
			15分	d1-5	側管
3	ダカルバジン 注射用水 生理食塩液	250mg/m2 10mL/V 100mL			
			30分	d1-5	側管
4	ソララクトTMR	500mL	4時間	d1-5	側管
5	イメンド	125mg	1×	d1	内服
	イメンド	80mg	1×	d2,3	内服

留意点および急性期有害事象等	<p>&lt;投与基準&gt; Paul B et al.pIII study WBC<math>\geq</math>4000/<math>\mu</math>L、PLT<math>\geq</math>16万/<math>\mu</math>L、T-Bil<math>\leq</math>1.5mg/dL、クレアチニン<math>\geq</math>1.4mg/dL、EF<math>\geq</math>50%、5年以内他癌に罹患していない。</p> <p>&lt;有害事象&gt; 国内第II相試験(5日間連続法)※全Grade 嘔気:15.4%、嘔吐:5.8%、食欲不振:3.8%、AST/ALT上昇:25%/28.2%、白血球減少:16.2%、赤血球減少:17.1%</p> <p>&lt;減量基準&gt; 特になし。(G4の好中球減少および熱発時はG-CSF製剤を使用)</p> <p>&lt;その他注意&gt; 高度催吐性リスクレジメンであるためday1~3においてイメンド125mg-80mg-80mgの併用を実施する。</p> <p><b>【DTIC】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本剤はヘパリン、ヒドロコルチゾンコハク酸エステル等の他剤と混合すると結晶析出あるいは外観変化を生じることがあるので、混合同時投与を避けること。</li> <li>溶解後、更に希釈する場合には日局生理食塩液又は日局5%ブドウ糖注射液を用いる。</li> <li>本剤の血管痛を防止する目的で点滴静注する場合には、点滴経路全般を遮光して投与すること。(血管外漏出リスク分類:irritant drug)</li> </ul>
----------------	--

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>Paul B et al.journal of clinical oncology 17,9:2745-2751.1999</li> <li>悪性黒色腫に対するDTICの第II相試験(DTIC研究グループ)癌と化学療法13(5):1940-1945.1986</li> <li>皮膚科日大protocol</li> </ul>
------	--

夜間、帰宅時、対応医師への連絡先	外来診療中:皮膚科外来(3105) 夜間・休診日:当直医(8149)
------------------	------------------------------------